

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【公表番号】特表2013-529540(P2013-529540A)

【公表日】平成25年7月22日(2013.7.22)

【年通号数】公開・登録公報2013-039

【出願番号】特願2013-518378(P2013-518378)

【国際特許分類】

A 63 H 33/18 (2006.01)

A 63 H 33/00 (2006.01)

A 63 H 1/00 (2006.01)

【F I】

A 63 H 33/18 A

A 63 H 33/00 303 E

A 63 H 33/00 301 E

A 63 H 1/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月7日(2014.7.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

回転可能なコアであって、

外部を有する収容部と、

前記外部内に形成されたインデント領域と、

を含んでおり、

前記インデント領域は、放出のためにユーザの手指を配置する場所に導くように形成されており、前記インデント領域を押し込むことによって、当該コアがプレイ面に押し付けられ、当該コアをスピンさせてユーザから離れさせ、

前記インデント領域は、前記収容部の外部に中心を外れて形成されており、

前記インデント領域は、凹部で形成されており、

前記収容部は、物体を受領するための空洞部を含んでおり、

前記物体上の対応するコネクタと接続するためのコネクタを含んだ、前記収容部に取り付けられた解除機構と、

前記物体を放出するための放出機構と、

をさらに含んでおり、

前記解除機構を作動させることによって、前記コネクタは前記物体を放出させ、前記放出機構は、前記物体を前記収容部から放出させ、

前記解除機構の前記コネクタは、解除引金部であり、前記放出機構は、バネ圧縮式プラットフォームであり、前記物体上のコネクタは、留め金であり、

前記解除機構は、前記解除引金部と作動式に接続された荷重振子をさらに含んでおり、前記振子の動きによって、前記解除引金部が前記留め金を解除して、前記物体を放出させることを特徴とする回転可能なコア。

【請求項2】

当該コアの周囲に沿った二つの隆起リングをさらに含んでいることを特徴とする請求項

1記載の回転可能なコア。**【請求項3】**

前記収容部の前記空洞部内に配置される留め金を備えた展開可能な物体をさらに含んでいることを特徴とする請求項2記載の回転可能なコア。

【請求項4】

回転可能なコアであって、
外部を有する収容部と、
前記外部内に形成されたインデント領域と、
を含んでおり、

前記インデント領域は、放出のためにユーザの手指を配置する場所に導くように形成されており、前記インデント領域を押し込むことによって、当該コアがプレイ面に押し付けられ、当該コアをスピンドルさせてユーザから離れさせ、

前記インデント領域は、前記収容部の外部に中心を外れて形成されており、
前記インデント領域は、凹部で形成されており、
前記収容部は、物体を受領するための空洞部を含んでおり、
前記物体上の対応するコネクタと接続するためのコネクタを含んだ、前記収容部に取り付けられた解除機構と、

前記物体を放出するための放出機構と、
をさらに含んでおり、
前記解除機構を作動させることによって、前記コネクタは前記物体を放出させ、前記放出機構は、前記物体を前記収容部から放出させ、

前記解除機構の前記コネクタは、一対のクリップであって、前記解除機構は、前記一対のクリップと作動式に接続されている衝撃引金をさらに含んでおり、前記衝撃引金は、衝撃を受けると、前記一対のクリップに前記物体を放出させることを特徴とする回転可能なコア。

【請求項5】

前記収容部の前記空洞部内に配置させる留め金を備えた展開可能な物体をさらに含んでいることを特徴とする請求項4記載の回転可能なコア。

【請求項6】

回転可能なコアであって、
外部を有する収容部と、
前記外部内に形成されたインデント領域と、
を含んでおり、

前記インデント領域は、放出のためにユーザの手指を配置する場所に導くように形成されており、前記インデント領域を押し込むことによって、当該コアがプレイ面に押し付けられ、当該コアをスピンドルさせてユーザから離れさせ、

前記インデント領域は、前記収容部の外部に中心を外れて形成されており、
前記インデント領域は、凹部で形成されており、
前記空洞部内に配置された物体と磁気的に接続するための磁石を備えた振子を含んだ、前記収容部に取り付けられた解除機構をさらに含んでおり、当該コアとプレイ面との衝撃によって、前記振子が前記物体との磁気接続を破壊するように前記物体から振れて離れ、前記収容部から前記物体を放出させることを特徴とする回転可能なコア。

【請求項7】

前記収容部の前記空洞部内に配置される展開可能な物体をさらに含んでおり、前記展開可能な物体は、前記磁石で前記振子に磁気的に引き付けられていることを特徴とする請求項6記載の回転可能なコア。

【請求項8】

回転可能なコアであって、
物体を受領するための空洞部を有する収容部と、
前記収容部に取り付けられ、物体を接続するためのコネクタを含んだ解除機構と、

を含んでおり、

前記解除機構を作動させることで、前記コネクタは、前記収容部から前記物体を放出させ、

前記物体を放出させるため、前記収容部に取り付けられた放出機構をさらに含んでおり、

前記解除機構の前記コネクタは、解除引金部であり、前記放出機構は、バネ圧縮式プラットフォームであることを特徴とする回転可能なコア。

【請求項 9】

前記解除機構は、該解除引金部に作動式に接続された荷重振子をさらに含んでおり、前記振子が動くことで、前記解除引金部は、前記物体を放出させることを特徴とする請求項 8 記載の回転可能なコア。

【請求項 10】

当該コアの周囲に設けられた二つの隆起リングをさらに含んでいることを特徴とする請求項 9 記載の回転可能なコア。

【請求項 11】

前記収容部の前記空洞部内に配置させる留め金を備えた展開可能な物体をさらに含んでいることを特徴とする請求項 10 記載の回転可能なコア。

【請求項 12】

回転可能なコアであって、

物体を受領するための空洞部を有する収容部と、

前記収容部に取り付けられ、物体を接続するためのコネクタを含んだ解除機構と、を含んでおり、

前記解除機構を作動させることで、前記コネクタは、前記収容部から前記物体を放出させ、

前記解除機構の前記コネクタは、一対のクリップであり、前記解除機構は、前記一対のクリップに作動式に取り付けられた衝撃引金をさらに含んでおり、衝撃を受けると、前記衝撃引金が前記一対のクリップに前記物体を放出させることを特徴とする回転可能なコア。

【請求項 13】

前記収容部の前記空洞部内に配置させる留め金を備えた展開可能な物体をさらに含んでいることを特徴とする請求項 12 記載の回転可能なコア。

【請求項 14】

回転可能なコアであって、

物体を受領するための空洞部を有する収容部と、

前記収容部に取り付けられ、物体を接続するためのコネクタを含んだ解除機構と、を含んでおり、

前記解除機構を作動させることで、前記コネクタは、前記収容部から前記物体を放出させ、

前記解除機構は、振子を含んでおり、前記コネクタは、物体を前記空洞部内に磁気的に接続するために前記振子に取り付けられた磁石であり、当該コアとプレイ面との衝突によって、前記物体との磁気的接続を破壊し、前記収容部から前記物体を放出させるよう、前記振子は、前記物体から振れて離れることを特徴とする回転可能なコア。

【請求項 15】

前記収容部の前記空洞部内に配置される展開可能な物体をさらに含んでおり、前記展開可能な物体は、前記振子に前記磁石で磁気的に引き付けられていることを特徴とする請求項 14 記載の回転可能なコア。

【請求項 16】

回転可能なコアであって、

物体を受領するための空洞部を有する収容部と、

前記収容部に取り付けられ、物体を接続するためのコネクタを含んだ解除機構と、

を含んでおり、

前記解除機構を作動させることで、前記コネクタは、前記収容部から前記物体を放出させ、

前記収容部の前記空洞部内に配置され、前記解除機構に取り付けられる展開可能な物体をさらに含んでおり、前記展開可能な物体は、前記解除機構と接続するためのコネクタを有しており、前記解除機構の作動によって、前記物体が当該コアから放出されることを特徴とする回転可能なコア。

【請求項 17】

前記展開可能な物体は、折り畳み状態と、展開状態とになることができる少なくとも一つの付属物を含んでおり、前記展開可能な物体が前記空洞部内に存在するとき、前記少なくとも一つの付属物は、前記折り畳み状態で配置され、前記空洞部から放出されると、前記少なくとも一つの付属物は、前記展開状態に変身することを特徴とする請求項 16 記載の回転可能なコア。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

(項目 1)

回転可能なコアであって、

外部を有する収容部と、

前記外部内に形成されたインデント領域と、

を含んでおり、

前記インデント領域は、放出のためにユーザの手指を配置する場所に導くように形成されており、前記インデント領域を押し込むことによって、当該コアがプレイ面に押し付けられ、当該コアをスピンさせてユーザから離れさせることを特徴とする回転可能なコア。

(項目 2)

前記インデント領域は、前記収容部の外部に中心を外れて形成されていることを特徴とする項目 1 記載の回転可能なコア。

(項目 3)

前記インデント領域は、凹部で形成されていることを特徴とする項目 2 記載の回転可能なコア。

(項目 4)

前記収容部は、物体を受領するための空洞部を含んでいることを特徴とする項目 3 記載の回転可能なコア。

(項目 5)

前記物体上の対応するコネクタと接続するためのコネクタを含んだ、前記収容部に取り付けられた解除機構と、

前記物体を放出するための放出機構と、

をさらに含んでおり、

前記解除機構を作動させることによって、前記コネクタは前記物体を放出させ、前記放出機構は、前記物体を前記収容部から放出させることを特徴とする項目 4 記載のコア。

(項目 6)

前記解除機構の前記コネクタは、解除引金部であり、前記放出機構は、バネ圧縮式プラットフォームであり、前記物体上のコネクタは、留め金であることを特徴とする項目 5 記載の回転可能なコア。

(項目 7)

前記解除機構は、前記解除引金部と作動式に接続された荷重振子をさらに含んでおり、

前記振子の動きによって、前記解除引金部が前記留め金を解除して、前記物体を放出させることを特徴とする項目 6 記載の回転可能なコア。

(項目 8)

当該コアの周囲に沿った二つの隆起リングをさらに含んでいることを特徴とする項目 7 記載の回転可能なコア。

(項目 9)

前記収容部の前記空洞部内に配置される留め金を備えた展開可能な物体をさらに含んでいることを特徴とする項目 8 記載の回転可能なコア。

(項目 10)

前記解除機構の前記コネクタは、一対のクリップであって、前記解除機構は、前記一対のクリップと作動式に接続されている衝撃引金をさらに含んでおり、前記衝撃引金は、衝撃を受けると、前記一対のクリップに前記物体を放出させることを特徴とする項目 5 記載の回転可能なコア。

(項目 11)

前記収容部の前記空洞部内に配置させる留め金を備えた展開可能な物体をさらに含んでいることを特徴とする項目 10 記載の回転可能なコア。

(項目 12)

前記空洞部内に配置された物体と磁気的に接続するための磁石を備えた振り子を含んだ、前記収容部に取り付けられた解除機構をさらに含んでおり、前記コアとプレイ面との衝撃によって、前記振子が前記物体との磁気接続を破壊するように前記物体から振れて離れ、前記収容部から前記物体を放出させることを特徴とする項目 3 記載の回転可能なコア。

(項目 13)

前記収容部の前記空洞部内に配置される展開可能な物体をさらに含んでおり、前記展開可能な物体は、前記磁石で前記振子に磁気的に引き付けられていることを特徴とする項目 12 記載の回転可能なコア。

(項目 14)

回転可能なコアであって、
物体を受領するための空洞部を有する収容部と、
前記収容部に取り付けられ、物体を接続するためのコネクタを含んだ解除機構と、
を含んでおり、
前記解除機構を作動させることで、前記コネクタは、前記収容部から前記物体を放出させることを特徴とする回転可能なコア。

(項目 15)

前記物体を放出させるため、前記収容部に取り付けられた放出機構をさらに含んでいることを特徴とする項目 14 記載の回転可能なコア。

(項目 16)

前記解除機構の前記コネクタは、解除引金部であり、前記放出機構は、バネ圧縮式プラットフォームであることを特徴とする項目 15 記載の回転可能なコア。

(項目 17)

前記解除機構は、該解除引金部に作動式に接続された荷重振子をさらに含んでおり、前記振子が動くことで、前記解除引金部は、前記物体を放出させることを特徴とする項目 16 記載の回転可能なコア。

(項目 18)

当該コアの周囲に設けられた二つの隆起リングをさらに含んでいることを特徴とする項目 17 記載の回転可能なコア。

(項目 19)

前記収容部の前記空洞部内に配置させる留め金を備えた展開可能な物体をさらに含んでいることを特徴とする項目 18 記載の回転可能なコア。

(項目 20)

前記解除機構の前記コネクタは、一対のクリップであり、前記解除機構は、前記一対の

クリップに作動式に取り付けられた衝撃引金をさらに含んでおり、衝撃を受けると、前記衝撃引金が前記一対のクリップに前記物体を放出させることを特徴とする項目14記載の回転可能なコア。

(項目21)

前記収容部の前記空洞部内に配置させる留め金を備えた展開可能な物体をさらに含んでいることを特徴とする回転可能なコア。

(項目22)

前記解除機構は、振子を含んでおり、前記コネクタは、物体を前記空洞部内に磁気的に接続するために前記振子に取り付けられた磁石であり、当該コアとブレイ面との衝突によって、前記物体との磁気的接続を破壊し、前記収容部から前記物体を放出させるよう、前記振子は、前記物体から振れて離れることを特徴とする項目14記載の回転可能なコア。

(項目23)

前記収容部の前記空洞部内に配置される展開可能な物体をさらに含んでおり、前記展開可能な物体は、前記振子に前記磁石で磁気的に引き付けられていることを特徴とする項目22記載の回転可能なコア。

(項目24)

前記収容部の前記空洞部内に配置され、前記解除機構に取り付けられる展開可能な物体をさらに含んでおり、前記展開可能な物体は、前記解除機構と接続するためのコネクタを有しており、前記解除機構の作動によって、前記物体が当該コアから放出されることを特徴とする項目14記載の回転可能なコア。

(項目25)

前記展開可能な物体は、折り畳み状態と、展開状態とになることができる少なくとも一つの付属物を含んでおり、前記展開可能な物体が前記空洞部内に存在するとき、前記少なくとも一つの付属物は、前記折り畳み状態で配置され、前記空洞部から放出されると、前記少なくとも一つの付属物は、前記展開状態に変身することを特徴とする項目24記載の回転可能なコア。

本発明の目的、特徴および利点は、以下の図面と関連させた続く本発明の多様な態様の詳細な説明から明確になるであろう。